

■■ 平成25年度 柏崎市刈羽郡教育課程部 活動報告 ■■

部長 神林 均

◇ 1 事業報告 ◇

(1) 組織作り及び事業計画作成 4月23日(火) 柏崎市立比角小学校にて

(2) 《教育講話研修会 ①》 10月25日(金) 柏崎市立教育センターにて

演題 「柏崎の同和問題とこれからの同和教育」

講師 新潟産業大学特任教授 秋山 正道 様

昨年に引き続き、今年度も秋山 様をお招きし、現代社会に見られる同和問題及び同和問題の歴史と柏崎の同和問題についてお話しいただいた。

① 現代社会に見られる差別問題

- ・財務大臣の問題発言「ナチスの手口を学んだらどうか」
- ・ヘイトスピーチに見られる在日朝鮮人への差別
- ・柏崎市在住の在日朝鮮人の歴史(2世や3世のことも)

② 文化及び歴史上の人物と同和問題、同和教育

- ・角付け芸, 春駒, 大黒舞, 大神楽, 獅子舞等を生業として生きた人々
- ・田楽, 猿楽から能へ(差別された人々の中からの文化誕生)
- ・近松門左衛門, 松尾芭蕉, 千利休等の歴史上の人物の被差別部落という視点からの見直し
- ・被差別部落とかかわりのある人々が日本の文化を支えていたという事実への着目
- ・少数散在の柏崎市の被差別部落
- ・相手の立場に立って考えられる人間育成の難しさ(人権教育、同和教育の実践の積み重ね)
- ・実践校の授業を見ることで、先生方の道は開けていく。



(3) 《教育講話研修会 ②》 12月25日(水) 柏崎市立図書館ソフィアセンターにて

演題 「大津波から生き抜いた子どもたちの奇跡ではない釜石の奇跡」

講師 岩手県岩手郡滝沢村立滝沢東小学校長 加藤 孔子 様(前 釜石市立釜石小学校長)

東日本大震災当時、釜石小学校長の加藤 様をお招きし、震災前からの防災教育の取組や、震災発生からの今日までの軌跡と現在取り組まれている復興教育について熱くご講話いただきました。

① 釜石の小中学生の状況 学校外の5名を除く全員が安全に避難(生存率99.8%)

② 2011年3月11日午後2時46分、釜石小学校の児童の状況

③ 震災発生から安否確認までの釜石小職員の動き

- ・3月13日20時30分、184名の児童全員の安否確認

④ 釜石小学校184名の命を救ったものは何か?

- ・ぼく、私の津波災害安全マップ作り
- ・下校時津波避難訓練
- ・津波防災の授業
- ・津波てんでんこ
- ・絆 ~学校と地域、市役所(行政)~



⑤ 岩手の復興教育

- ・10年後、20年後の岩手を担う子どもの育成を
- ・あたり前をあたり前に
- ・滝沢東小学校(内陸)から届け! みんなの思い

「生きる!」 「かかわる!」 「そなえる!」



◇ 2 成果と課題 ◇

今年度も「人権教育、同和教育」と「防災教育」の視点で活動を行った。同和教育も防災教育も我々教職員の日頃の意識の持ち方が問われる内容であり、深く考えさせられる研修であった。

次年度も心をもって実践している方からお話をいただき、激動の社会に出ていく子どもたちにたくましく生きていく力を育む学校の在り方について考えていきたい。